

南海トラフの巨大地震モデル検討会
第1回会合

今村委員提供資料

南海トラフの巨大地震モデル検討会

- 東北大学・今村文彦
- 被害推定の向上
 - 津波の波源モデル(海溝型地震の場合)
 - 津波地震タイプ, 分岐断層タイプ
 - 海底地滑りなど
- より正確で多彩なハザードの評価
- 安全レベルの議論

ハザード・被害推定の向上

- 想定地震津波；過去最大から可能最大
- 波源推定の向上
 - 津波の波源モデル(海溝型地震の場合)
 - 津波地震タイプ, 分岐断層タイプ
 - 海底地滑りなど
- より正確で多彩なハザードの評価
 - 浸水域(土地利用状態, 粗度, 津波先端条件) + 流速(図-1), 流体力, 継続時間(図-2), 最大波高出現時間
 - 来襲状況
 - 沿岸施設の役割(保全されるか? 被害されるか?)
 - 漂流物・土砂移動をどうするのか?

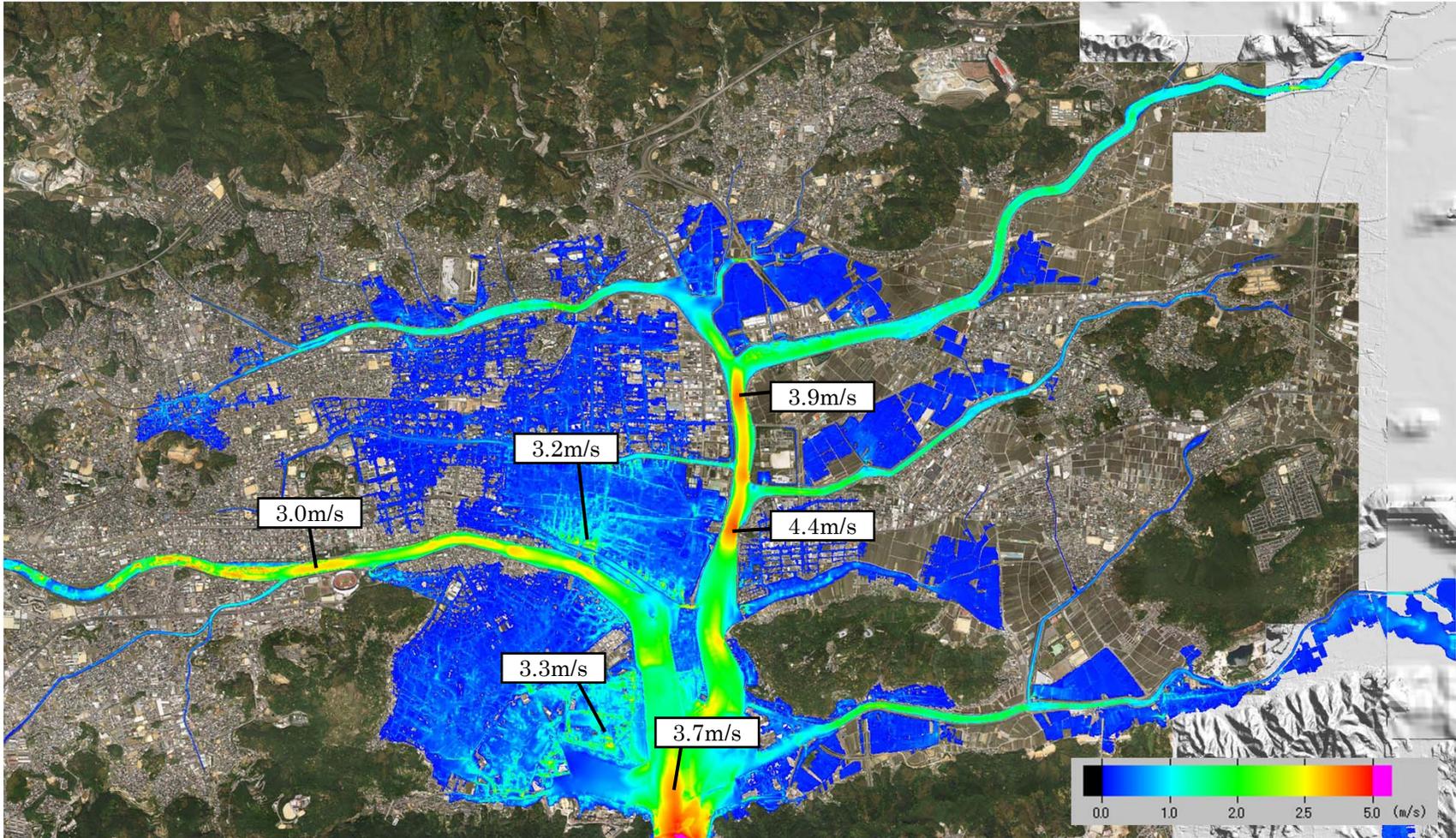


図-1 日向灘を含む宝永(1707)地震[CASE03](時間差を伴った地殻変動)
高知市詳細領域最大流速分布

※初期潮位はT.P. 0.91mとして地震発生から6時間目までの最大値を求めた。

津波波形結果

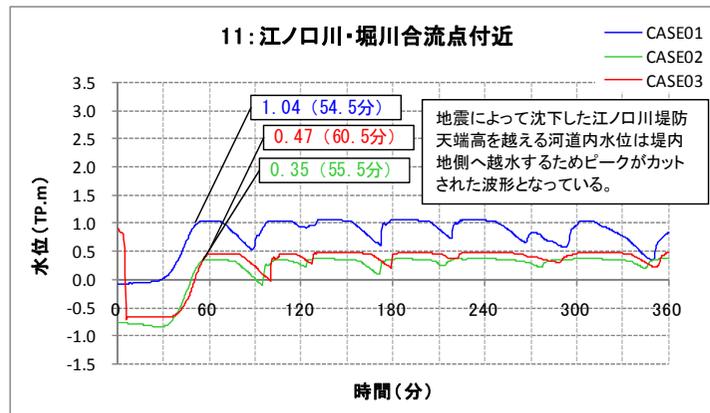
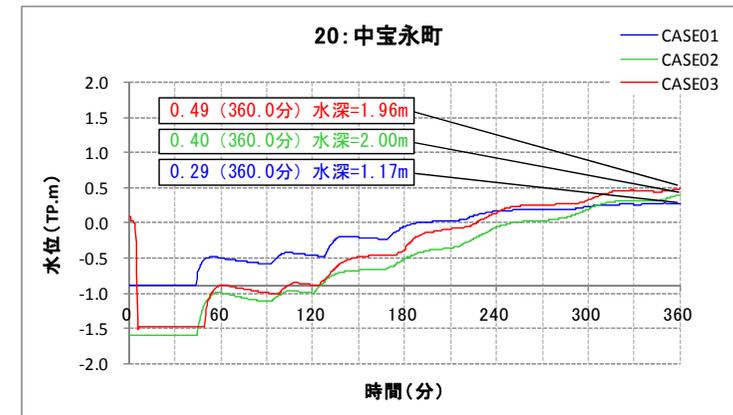
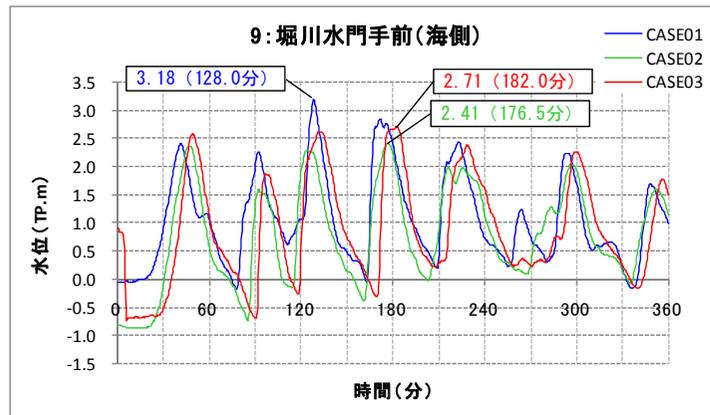
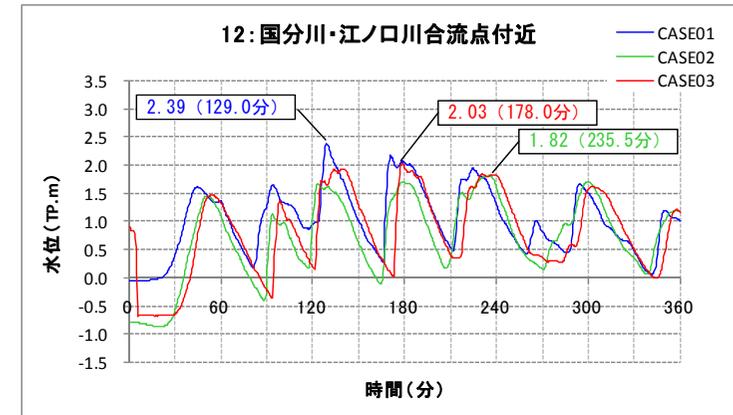
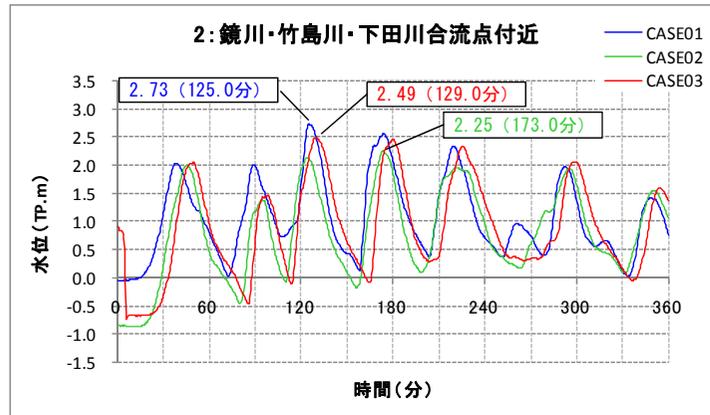


図-2 高知市詳細領域の水位時間波形

安全レベルの議論

- 安全レベルの議論
 - 何をどの程度まで守るのか？
 - 抑止力, 軽減力, 回復力の向上
 - という観点から, 目標レベルを議論する必要がある
- リスクの評価と認知
- 効果的な減災事業の展開